

2004年2月9日

発行
日本ハンドボールリーグ委員会
委員長・川上 憲太
東京都渋谷区神南1-1-1
電話 03-3481-2494

オムロンが3位の座を死守

~第28回 日本ハンドボールリーグ第13週~

第28回日本ハンドボールリーグ第13週は2月8日に女子1試合のみ行われ、オムロンがHC名古屋に26-17と快勝して3位の座を死守した。すでに広島メイプルレッズが3位以内を確定、2位のシャトレーゼも2年連続のプレーオフ進出を目前としており、今後はこのオムロンと4位のソニーセミコンダクタ九州の競り合いが大きな見所となっている。

オムロン・HC名古屋戦は、試合開始から激しいディフェンスの応酬となり、オムロン・勝田、HC名古屋・庵下の両GKの好セーブもあって一進一退の攻防が続いた序盤戦。徐々にペースを握りかけたオムロンは、富田のロングやカットインなどで引き離しにかかり、菅谷美奈、羽出重のロングシュートで食い下がるHC名古屋を3点リードして前半を終えた。

後半立ち上がり、オムロンは劉のステップシュート、佐久川のワンマン速攻で5点差とすると、その後も安定したディフェンスでHC名古屋の追加点を阻み、富田、劉の得点でじりじりと点差を広げて26-17で勝利を握った。HC名古屋は1150人を越える地元サポーターの声援を背に最後まで食い下がったが、悲願の初白星は翌週以降に持ち越しとなつた。

次週は女子3試合が組まれ、この中ではプレーオフ進出に直結するオムロン・シャトレーゼの行方が注目されるところ。両チームを追うソニーセミコンダクタ九州は北国銀行とのアウェイゲームをいかに戦うか。

また、男子のチャレンジリーグが下記の日程で行われる。男子の世界選手権アジア予選が2月10~22日までカタールであり、今期の男子が2回戦制となったことから、若手層のレベルアップを狙いとして同時期に学生との交流戦を企画したもの。すでに関東で2試合を消化、2月中旬から3月にかけて東海、関西、九州地区に男子2部を加えて各地で熱戦を繰り広げる。



オムロンの主力ヒッター・富田

第14週の日程

[1 部]

2月14日(土) 石川・金沢市総合体育館(JR北陸本線金沢駅バス25分)	13:00~(女) 北 国 銀 行 × ソ ニ -
広島・東区スポーツセンター(アストラムライン線牛田駅徒歩2分)	14:00~(女) メイプルレッズ × H C 名 古 屋
2月15日(日) 熊本・松橋町体育文化センター(JR鹿児島本線松橋駅徒歩20分)	14:00~(女) オ ム ロ ン × シ ャ レ ト ザ

2月8日(日) 女子1部	
愛知・ブライザ工業体育館	
オムロン 26 (12-9 7勝0分4敗)	HC名古屋 17 (14-8 0勝0分11敗)
0/0 藤 長 菅谷枝 0/0	
3/4 安心院 加 藤 3/6	
0/1 大 石 加治木 0/3	
1/1 西 本 菅谷奈 2/9 2/3	
3/3 6/12 富 田 羽出重 3/8	
2/3 佐久川 水 野 0/0	
<0/1> K 藤 間 加 納 2/4	
1/3 水 野 島 田 0/0	
0/0 卷 平 岡 0/0	
2/5 金 城 川 畑 K <0/1>	
<1/5> K 勝 田 植 田 2/3	
0/0 洪延昊 宮 田 0/1	
8/12 劉晋淑 佐 藤 0/5 3/3	
0/0 東 濱 下 K <0/2>	
3/3 23/41 3(FPP) 3 12/39 5/6	
審判(根来・青木) 観客 1150人	

チャレンジリーグ(男子)日程	
関東地区	大崎電気・HC東京 筑波大・国士館大
	2月11日(水) 埼玉県・吉川市総合体育館 2月22日(日) 東京都・駒沢屋内球技場
東海地区	大同特殊鋼 トヨタ車体 中部大 名城大
	2月20日(金) 岐阜県・岐阜アリーナ 2月21日(土) 岐阜県・岐阜アリーナ
関西地区	ホンダ 湧永製薬 大阪体育大 大阪経済大
	2月14日(土) 三重県・ホンダアクティブランド体育館 2月15日(日) 三重県・ホンダアクティブランド体育館
九州地区	ホンダ熊本 アラコ九州 東和大 福岡大
	3月13日(土) 佐賀県・アラコ九州クレインアリーナ
男子2部	北陸電力 トヨタ自動車 大阪ガス 豊田合成 金沢大 大同工業大 東北福祉大 中・四国地区代表
	2月28日(土) 福井県・北陸電力福井体育馆フレア 2月29日(日) 福井県・北陸電力福井体育馆フレア

男女1部個人賞レース 第13週終了

《男子》 《女子》

得点王

1 吴 相 民 (アラコ九州)	94 点	(13試合)	1 郭 惠 静 (ソニー)	103 点	(11試合)
2 朴 性 立 (大同特殊鋼)	77 点	(12試合)	2 早 船 愛 子 (シャトレーゼ)	100 点	(11試合)
3 ヴ オ ル (ホンダ熊本)	69 点	(12試合)	3 田 中 美 音 子 (ソニー)	78 点	(11試合)
4 金 性 憲 (大同特殊鋼)	64 点	(12試合)	4 吳 成 玉 (メイプルレッズ)	65 点	(8試合)
5 小 沢 勝 利 (湧永製薬)	63 点	(13試合)	5 金 鎮 順 (メイプルレッズ)	57 点	(6試合)
6 中 川 善 雄 (大崎電気)	62 点	(13試合)	6 富 田 有 美 (オムロン)	53 点	(11試合)
7 野 村 広 明 (トヨタ車体)	57 点	(13試合)	6 菅 谷 美 奈 (H C 名古屋)	53 点	(11試合)
8 ク ジ ノ フ (ホンダ熊本)	54 点	(10試合)	8 中 村 尚 美 (北国銀行)	51 点	(11試合)
9 山 本 琢 央 (大同特殊鋼)	53 点	(13試合)	9 稲 吉 希 穂 (シャトレーゼ)	46 点	(11試合)
10 松 林 克 明 (大同特殊鋼)	49 点	(13試合)	10 金 城 晶 子 (オムロン)	45 点	(11試合)
11 朴 正 鎮 (アラコ九州)	47 点	(13試合)	11 青 戸 あ か ね (メイプルレッズ)	41 点	(11試合)
11 竹 下 浩 雄 (トヨタ車体)	47 点	(13試合)	11 上 町 史 織 (北国銀行)	41 点	(11試合)
11 北 出 圭 祐 (トヨタ車体)	47 点	(13試合)	13 劉 晋 淑 (オムロン)	39 点	(11試合)
14 田 中 慎 一 (アラコ九州)	45 点	(13試合)	14 橋 本 寛 子 (シャトレーゼ)	37 点	(11試合)
15 福 田 大 樹 (湧永製薬)	44 点	(13試合)	15 藤 浦 美 絵 (シャトレーゼ)	36 点	(11試合)

フィールド得点賞

1 金 性 憲 (大同特殊鋼)	64 点	(12試合)	1 郭 惠 静 (ソニー)	84 点	(11試合)
2 中 川 善 雄 (大崎電気)	62 点	(13試合)	2 田 中 美 音 子 (ソニー)	75 点	(11試合)
2 朴 性 立 (大同特殊鋼)	62 点	(12試合)	3 早 船 愛 子 (シャトレーゼ)	67 点	(11試合)
4 吳 相 民 (アラコ九州)	57 点	(13試合)	4 吳 成 玉 (メイプルレッズ)	62 点	(8試合)
5 ヴ オ ル (ホンダ熊本)	56 点	(12試合)	5 金 鎮 順 (メイプルレッズ)	47 点	(6試合)
6 山 本 琢 央 (大同特殊鋼)	51 点	(13試合)	6 稲 吉 希 穂 (シャトレーゼ)	46 点	(11試合)
6 ク ジ ノ フ (ホンダ熊本)	51 点	(10試合)	7 金 城 晶 子 (オムロン)	45 点	(11試合)
8 松 林 克 明 (大同特殊鋼)	49 点	(13試合)	8 青 戸 あ か ね (メイプルレッズ)	41 点	(11試合)
9 朴 正 鎮 (アラコ九州)	47 点	(13試合)	9 劉 晋 淑 (オムロン)	39 点	(11試合)
9 北 出 圭 祐 (トヨタ車体)	47 点	(13試合)	9 中 村 尚 美 (北国銀行)	39 点	(11試合)

シュート率賞 (フィールド得点ベスト10を対象)

1 松 林 克 明 (大同特殊鋼)	49点 / 68射	0.721	1 青 戸 あ か ね (メイプルレッズ)	41点 / 51射	0.804
2 山 本 琢 央 (大同特殊鋼)	51点 / 81射	0.630	2 田 中 美 音 子 (ソニー)	75点 / 113射	0.664
3 朴 正 鎮 (アラコ九州)	47点 / 78射	0.603	3 吳 成 玉 (メイプルレッズ)	62点 / 105射	0.590
4 ヴ オ ル (ホンダ熊本)	56点 / 97射	0.577	4 郭 恵 静 (ソニー)	84点 / 155射	0.542
5 金 性 憲 (大同特殊鋼)	64点 / 118射	0.542	5 稲 吉 希 穂 (シャトレーゼ)	46点 / 88射	0.523

7mスロー得点賞

1 吴 相 民 (アラコ九州)	37 点	(13試合)	1 早 船 愛 子 (シャトレーゼ)	33 点	(11試合)
2 小 沢 勝 利 (湧永製薬)	27 点	(13試合)	2 菅 谷 美 奈 (H C 名古屋)	26 点	(11試合)
3 森 本 彰 宏 (大崎電気)	25 点	(11試合)	3 富 田 有 美 (オムロン)	25 点	(11試合)
4 朴 性 立 (大同特殊鋼)	15 点	(12試合)	4 郭 恵 静 (ソニー)	19 点	(11試合)
4 野 村 広 明 (トヨタ車体)	15 点	(13試合)	5 木 村 紗 子 (メイプルレッズ)	16 点	(11試合)

7mスロー阻止賞 (7mスローを受けた数が、チームの試合数以上のG Kが対象)

1 吉 井 丈 晴 (ホンダ)	10本 / 23射	0.435	1 高 森 紗 子 (メイプルレッズ)	8本 / 21射	0.381
2 濱 口 靖 (大崎電気)	7本 / 17射	0.412	2 田 代 ひ ろ み (北国銀行)	4本 / 12射	0.333
3 吉 田 耕 平 (ホンダ熊本)	9本 / 27射	0.333	3 浅 井 友 可 里 (メイプルレッズ)	7本 / 22射	0.318
4 宇 田 川 敏 郎 (H C 東京)	8本 / 27射	0.296	4 隅 下 雪 絵 (H C 名古屋)	9本 / 33射	0.273
5 谷 川 一 寿 (アラコ九州)	9本 / 33射	0.273	5 田 中 麻 美 (北国銀行)	10本 / 43射	0.233

追加登録選手

女子

シャトレーゼ

2月12日より出場可能

15 中 村 鮎 美

1981.06.28 168cm 60kg 右

矢巾北中 盛岡第二高 東京学芸大

第28回日本ハンドボールリーグ成績表 第13週終了 2月8日現在

順位	1部男子	湧永製薬	大同特殊鋼	ホンダ	大崎電気	ホンダ熊本	トヨタ車体	アラコ九州	HC東京	試合数	勝数	引分数	敗数	勝点	総得点	総失点	差
1	湧永製薬		28 18	20	28 28	29 25	26 28	34 23	35 29	13	10	1	2	21	351	269	82
2	大同特殊鋼	22 18		18 22	25	30 23	25 27	27 28	26 28	13	10	1	2	21	319	262	57
3	ホンダ	23	21 21		26 27	30 24	26 29	33 20	28 31	13	10	0	3	20	339	261	78
4	大崎電気	24 21	20	15 33		25 27	22 25	22 26	29 23	13	9	0	4	18	312	283	29
5	ホンダ熊本	24 26	22 21	18 20	21 20		27	27 22	29 25	13	5	0	8	10	302	318	-16
6	トヨタ車体	21 21	23 16	19 23	20 22	24		25 22	29 26	13	4	0	9	8	291	302	-11
7	アラコ九州	24 17	25 23	22 22	20 19	26 23	23 20		27	13	2	1	10	5	291	336	-45
8	HC東京	15 13	14 10	13 16	16 11	20 12	15 9	27		13	0	1	12	1	191	365	-174

順位	1部女子	メイブルレッスン	シャトレーゼ	オムロン	ソニー	北国銀行	HC名古屋	試合数	勝数	引分数	敗数	勝点	総得点	総失点	差
1	広島メイブルレッスン		24 25	26 29	32 29 39	27 28	39 24	11	10	0	1	20	322	258	64
2	シャトレーゼ	23 26		34 20	28 18	29 23 32	24 32	11	8	1	2	17	289	230	59
3	オムロン	20 20	19 17		27 23	22 20	36 25 26	11	7	0	4	14	255	252	3
4	ソニーセミコンダクタ九州	30 25 32	28 27	26 21		27 30	29 26	11	5	1	5	11	301	262	39
5	北国銀行	15 20	19 17 17	17 19	18 16		22 21	11	2	0	9	4	201	275	-74
6	HC名古屋	24 23	18 19	24 19 17	16 16	18 19		11	0	0	11	0	213	304	-91

順位	2部男子	北陸電力	トヨタ自動車	大阪ガス	豊田合成	試合数	勝数	引分数	敗数	勝点	総得点	総失点	差
1	北陸電力		30 28 33	35 19 31	34 41 37	9	9	0	0	18	288	148	140
2	トヨタ自動車	18 18 19		17 27 22	28 27 34	9	5	0	4	10	210	208	2
3	大阪ガス	15 17 18	20 21 16		32 24 32	9	3	0	6	6	195	232	-37
4	豊田合成	16 14 13	26 14 20	24 27 30		9	1	0	8	2	184	289	-105

この星取り表は、シーズン途中は試合数に関係なく、仮の順位で並び替えてあります。

同勝点の場合は、1. 対戦間勝点 2. 対戦間得失点差 3. 総得失点差 4. 総得点 の多い順で順位付けしています。